

2019年2月13日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

ラグビーワールドカップ 2019 開催記念。日本ラグビーのレジェンドを振り返る 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第80回 上原明氏

(ラグビー日本代表のオフィシャルパートナーとして日本ラグビーの発展に寄与する大正製薬・会長)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度は日本のラグビーを支えてきた人びとをテーマにお送りします。

今回ご登場いただいたのは、18年間にわたりラグビー日本代表のオフィシャルスポンサー、オフィシャルパートナーとして日本ラグビー界を支援する大正製薬会長・上原明氏です。「ラグビーは私にとって一生、学びの場」と語り、日本全国にラグビー文化を根付かせたいと願う上原明氏に、ラグビーに慣れ親しんだ中学高校時代のお話から、大正製薬がラグビー日本代表のオフィシャルスポンサーになる経緯、ラグビーW杯への期待、日本ラグビーの未来についてなどを伺いました。

インタビュアーには産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出していただきました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『支援の背景にあるラグビーへの愛情と情熱』 上原明氏

【公開日時】2019年2月13日(水) 10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/277/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】冬の体育の恒例だったラグビー／大学では「演劇」を諦め「ラグビー」の道へ／「変革の必要性」と「認知拡大」への思いが支援に／ラグビー文化を日本全国に／ ほか



《プロフィール》

上原明(うへはら あきら)氏

1941年、東京都生まれ。成蹊中学・高等学校を卒業後、慶應義塾大学に進学し、「B.Y.Bラグビーフットボールクラブ」サークルに所属。大学卒業後は日本電気株式会社(NEC)勤務を経て、1977年に大正製薬株式会社に入社。1982年に代表取締役社長に就任し、現在は取締役会長を務める。

佐野慎輔(さの しんすけ)氏

1954年生まれ。産業経済新聞社特別記者兼論説委員、SSF理事。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
 笹川スポーツ財団 経営企画グループ:古坂(ふるさか)
 TEL:03-6229-5300 info@ssf.or.jp